

泉南走ろう会

先導 泉南スポーツ社
0724(83)4653

フルマラソンに参加して

会長 遠藤三

選手の皆様お疲れ様。なかでも三月一日、奈良フルマラソン、三月八日長屋のフルマラソンに参加した人があると聞く。それは栗野原さんです。その根性には敬服する。その栗野原さんとして所用ありて今回篠山に参加出来なかった石橋さんに、三月八日午前五時新家駅に我々一行、篠山フルマラソン参加に意を決して頑張ったことへの見送りを受く。早朝よりの見送り感謝する。勇躍篠山に向う。細井さん、井上さん、私として学校の先生塚さん、車中にて佐野先生、天王寺駅にて浅野先生と合流する。列車は天王寺に着くまでに、各駅より篠山フルマラソンに参加すると思われる人が乗車する。阪和線での様な人達を、かくもたくさん見るのは異様な風景である。福知山線に乗り、朝食をとる。

これでフルマラソン参加は私にと、ては何回目かな。別に大した下巻も意気込みもない。篠山口駅に着く。それはもう人々で一杯だ。会場までバスはピストン運転である。会場は昨日の天

気昏で、その習がとけ、ぐつぐつである。又ありにも多勢の人で我々のメンバーもトイレだ、なあんのかんのとさうていううちに皆がバラバラになる。午前十一時十分陸連未登録者我々のスタートする。なんとこ水ス、人々で居ない。私はこういう事は何回か経験しているが驚かない。快調子にて折返し地点を引返すのであるがもう駄目である。何時の手にか細井さん又とも井上さんにも追いつかれる。勇躍履ポーカーを履脚の故障かくして今日も走るが、いけなかったのである。三十五キロ関門通過三時四十分過ぎである。くやしい。何時もの、いままでのペースではゴール手前の時間であった。それがなんと今日午後七キロもある何度も立ち止り、脚のストロキチを打つ。その間にどくく人に追いつかれる。意気奮然である。涙が出る。甚しくいぼて勇躍履ポーカーを履き完走あるのみ。四時間二十四分二十四秒でゴールする。なんとして残念なタイムであった。篠山フルマラソンは翌日の新聞に、日本一だ。フルマラソン参加者一萬一千四百人(女性七百九十八人)篠山の町にランナーとして家族で約三万三千人とあり、町は一時パニック状態であったと思われ。或、カレンダーの標語に「結果は思わしくなくても尽した努力が力となって残って」とあった。これだなと思つた。それにしても参加せず参加費費で来てくれと頼む人がいるが、これがどうかあはれと言うと即座に「その人は賢明だ、行ってもあがのは決まってる」と答える。まさしく名(運)言である。その人は石橋さんの父、泉

南スポーツ店の店主である。私は参つた。あもううー。さっさと脱ぐよ。参つた。私は「巻上車末」を期す。諸君この熟語の意味わかってるかな。またのフルマラソン目掛けて頑張りますよ。

お知らせ

三月十五日(日)例会日はフルマラソンを休みのための休会とします。完全休会を行つて下さい。来月第一日曜日(四月)例会日から新年慶フレッシな気持ちで走りましょう。

二新年慶と言えは会費の徴収日です。一年間会費二千四百円、納付願います。もうすでに預けている人もありますが四月五日の例会日に御持参願います。こられぬ方は泉南走ろう会事務局徴収課の課長石橋さんが徴収に参ります。その際はよくよく御願います。早めに会費を納付しますとスツとしますよ。念のため申し添えます。

